

愛工大

テクノフェア 2026

2026

11.27

FRI

特別講演・技術シーズ講演・技術シーズ展示
学生チャレンジプロジェクト展示など
充実の内容！



愛工大テクノフェアは、本学で実施している研究に関わる技術シーズを一堂に集結し、企業等や地域社会の皆さまに公開し、密接な交流や情報発信の場を目指したものです。ぜひ、多くの皆さまにご来場いただき、このテクノフェアが産学官連携の一層の促進に役立つものとなることを望んでおります。

特別講演 ～技術革新とAIが切り拓く新市場と経営支援



福田刃物工業株式会社

取締役 技術部長 福田 恵介 氏

工業用刃物メーカーの
ノウハウを活かし
日本初の超硬合金包丁
「KISEKI:」を開発

日本初・超硬合金包丁が切り拓く
新マーケット創造への挑戦



愛知工業大学

経営学部経営学科 野中 尋史 教授

新時代の経営意思決定
～衛星・特許・WebデータのAI解析による
経営／経済分析手法の開発

● 特別講演は申込制 ●

10:00 - 17:00

お問い合わせ

☎ 0565-48-8121

✉ so-kenjimu@aitech.ac.jp

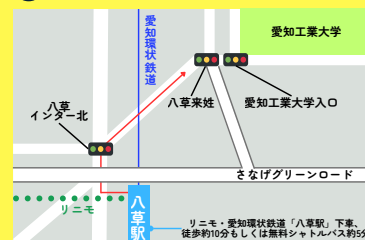
🌐 www.ait.ac.jp

主催 **AIT 愛知工業大学**

共催 名古屋電気学園愛名会、瑞若会（愛知工業大学同窓会）、愛知工業大学後援会
協賛 株式会社大垣共立銀行、豊田信用金庫、株式会社名古屋銀行、イオンモール長久手
公益財団法人名古屋産業科学研究所、佐川急便株式会社

後援 愛知県、名古屋市、豊田市、瀬戸市、長久手市、みよし市、（公財）科学技術交流財団
（一社）中部産業連盟、（公財）中部科学技術センター

【順不同】



特別講演

12:30～14:20

<会場> 1号館3階301室

申込
方法

二次元コード又はURLよりお申込みください。
特別講演は **事前申込制** です。

<https://form.qubo.jp/technofair2026>



～技術革新とAIが切り拓く新市場と経営支援



福田刃物工業株式会社
取締役 技術部長

福田 恵介 氏

12:40～13:30

日本初・超硬合金包丁が切り拓く新マーケット創造への挑戦

福田刃物工業株式会社 KISEKI:ブランドマネージャーの福田恵介が、日本初となる超硬合金包丁「KISEKI:」の開発からブランド戦略、市場創造までの挑戦を紹介します。

従来の包丁の常識を覆す技術革新と、製造業がBtoBからBtoCへ挑戦した経緯、デザインやブランディングによる付加価値の創出、国内外へ新たな市場を切り拓く取り組みについて、実例を交えながらお話しします。

イノベーションを実現した開発秘話を中心に、「売れるものづくり」の考え方や、新市場創造への挑戦について学べる講演です。



愛知工業大学
経営学部経営学科

野中 尋史 教授

13:30～14:20

新時代の経営意思決定

～衛星・特許・WebデータのAI解析による経営/経済分析手法の開発

人工衛星データ、Webデータ、特許データなどを用いて投資先の選定や営業先や協業先の開拓、マーケティング施策の立案など経営の意思決定を支援するAI援用の「オルタナティブデータ解析」が注目を集めています。これらオルタナティブデータ解析AIの実例について本学知識マイニング研究室および本学発スタートアップフリーヒルズラボでの研究成果に基づいて講演を行います。

技術シーズ展示

10:00～17:00

<会場> 1号館1階・2階フロア

16時～17時は「産学交流会」として、本学教員や産学連携コーディネーターとの交流時間を設けます。
コーヒーを飲みながら、自由に交流いただけます。

学生チャレンジプロジェクト展示

10:00～17:00

<会場> 1号館3階フロア

ものづくりに挑戦する学生を応援する、本学独自の制度「学生チャレンジプロジェクト」による成果を展示します。

- 本学ホームページには検索機能を備えた研究者情報データベースがございます。

<https://fpms.aitech.ac.jp/>

- 「技術相談入力フォーム」からのご相談も可能です。

<https://www.ait.ac.jp/cooperation/tie-ups/project-menu/consultations/>

研究者情報
データベース



技術相談申込
入力フォーム



TECHNO

FAIR
2026

技術シーズ講演／学生チャレンジプロジェクト発表

10:30～11:50 <会場> 1号館3階301室

「建築現場のコンクリート工事におけるデジタル技術について」



建築学科 瀬古 繁喜 教授

建築現場でのコンクリート工事に利用できるデジタル技術は、現在ある程度の項目に対応できるまでに開発されつつあります。工事にデジタル技術を適用していく難しさを説明するとともに、本学で研究開発を進めている品質検査への導入を目的とした画像認識型AIの内容を説明します。

「コンクリート構造物の劣化診断と対策に関する研究の紹介」



社会基盤学科 岩月 栄治 教授

インフラの構築材料として広く使用されているコンクリートは劣化する材料であるため、定期的な維持管理と診断が求められます。診断後は、劣化したコンクリート構造物の補修対策を実施します。本公演では、愛知工業大学で研究してきた診断手法と劣化対策について紹介します。

「エネルギー局所集約効果が拓く合成燃料製造とポリマーのケミカルリサイクル法」



応用化学科 佐治木 弘尚 教授

ボール衝突点に集約されるメカノエネルギーを利用し、水から水素を定量的に生成するとともに、共存する二酸化炭素や炭酸塩を合成メタンへ定量変換する手法を開発しました。さらに、低出力マイクロ波をフロー反応流路内の触媒に局所的に吸収させ、ポリスチレンの瞬時脱重合を実現しました。

「海洋調査ロボットプロジェクト」(学生チャレンジプロジェクト発表)

ものづくりに挑戦する学生を応援する本学独自の制度「学生チャレンジプロジェクト」から、「人が入ることが難しい水中でも自由に動き回ることができるロボット」の開発・研究を目指すプロジェクトをご紹介します。

14:30～15:30 <会場> 1号館3階301室

「ありふれた酸化物に高温超伝導を初めとした新しい機能性を与える」



電気学科 一野 祐亮 教授

身の回りにありふれた酸化物材料の結晶構造をパルスレーザー技術を用いて精密制御すると、高温超伝導などの新機能を発現させることができます。我々はシミュレーションやデータサイエンスを融合した開発の効率化を目指す、最先端の取り組みについて講演します。

「形状記憶合金の活用事例と高機能化への取組み」



機械学科 松井 良介 教授

形状記憶合金は、混合栓のような身近なものから医療分野まで幅広く活用されている金属です。本講演ではこの材料の基本的な性質を述べ、活用事例を紹介します。また当研究室のシーズとして、傾斜機能化や高耐食化など、形状記憶合金の高機能化に関する取組みを解説します。

「画像センシング・認識処理技術の産業界課題への適用」



情報科学科 塚田 敏彦 教授

画像を対象とした研究では、画像を得るためのセンシング技術と得られた画像から情報を抽出する認識技術の両方が重要です。これまでに企業殿と実施した画像センシングと認識処理技術を利用した共同研究で情報がオープンな内容について紹介します。

学科・施設名	ブース No.	技術シーズタイトル	代表教員名	シーズ集 掲載	学科・施設名	ブース No.	技術シーズタイトル	代表教員名	シーズ集 掲載
電気学科	1	超音波を用いた非接触マニピュレーション技術 超音波霧化技術	小塚 晃透	○	総合技術研究所	32	多元ナノ構造解析システム	岩田 博之	○
				○			超広域厚膜TEM観察		○
	2	スプレーを用いたナノオーダー機能薄膜の 成膜技術	清家 善之	○		P41	BaaS実現を目指したバッテリー診断 システムの実証	近藤 元博	—
	3	半導体デバイス製造工程での静電気障害対策 AIと超音波を利用した異常検知（欠陥検出）	津田 紀生	○	耐震実験 センター	23	未管理スギ丸太を配置した コンクリート充填鋼管柱	山本 貴正	—
	4	QDレーザーの自己結合信号を利用した 変位センサ		○		24	振動応答に基づくASR劣化コンクリートの 損傷評価に関する研究	岩田 隆弘	—
	5	ペロブスカイト太陽電池の作製技術相談 有機エレクトロニクスデバイスの作製技術相談	森 竜雄	○			損傷進展に伴うRC・PC建造物の 動的特性変化に関する研究		—
応用化学科	6	センサーフュージョンによるロボットの位置推定 —農作業ロボットからマイクロロボットまで	鳥井 昭宏	○	地域防災研究 センター	P42	自分のまちの水害リスクを 手元で見える化「IoT雨量計」	横田 崇	—
	P33	圧電素子を用いたマイクロロボット —多自由度駆動と浮上制御		○		P43	常時微動を用いた地盤・建物特性の評価	倉橋 奨	○
	14	磁界結合を利用した海中ワイヤレス給電	元谷 卓	○	エコ電力研究 センター	17	二重固定子巻線型発電機の開発	雪田 和人	—
機械学科	7	CVD法を利用した機能性材料の 合成・表面修飾技術	大澤 善美	○		18	ソーラーカー・蓄電池車の開発		○
	8	環境分析・生体分析のための オンライン試料前処理／流れ分析装置の開発	手嶋 紀雄	○		19	太陽光発電装置故障時における 保護装置の開発	津坂 亮博	○
	9	多孔性吸着媒体の開発 —簡便な水処理と安心・安全な水の提供—	村上 博哉	○		20	太陽光発電装置導入時における 電力品質の評価		○
	10	高機能形状記憶合金の開発と応用	松井 良介	○			直流双方向に対応した EV急速充電装置の開発		○
	11	装着型生活支援ロボットIPPOの開発	香川 高弘	○			直流マイクログリッドにおける エネルギーの地産地消		○
	12	切削工具刃先の研磨による工具寿命向上 （刃先摩耗の低減）	田中 浩	○	ロボット研究 ミュージアム	13	協働ロボットによる グローブボックス内の粉体実験自動化	西山 禎泰	○
社会基盤学科	P35	液滴エッチングによる 電子デバイス材料の加工研究	武田 亘平	○	総研 あいち重点 研究プロジェクト	15	あいち知の拠点重点研究プロジェクトV期 革新的ブルー燃料・ブルーコークス 併産複合プロセスの開発	板谷 義紀 植木 保昭 田川 智彦	—
	21	FDM 3Dプリンタを利用した 高機能ポリマー素子の開発	内田 敬久	○		16	あいち知の拠点重点研究プロジェクトV期 直流マイクログリッド普及のための 変換装置の小型化と遮断装置の開発	雪田 和人 後藤 卓弥 津坂 亮博	—
建築学科	22	アーム型サービスロボット	太田 英伸	○	総研 分野横断型 研究プロジェクト	30	半自動草刈り技術の開発（HAVRec成果）	塚田 敏彦	—
	26	紙材料の強度発現メカニズム解明と 高強度材料への応用	岩月 栄治	○		31	AI画像解析による環境依存性を考慮した 行動調査と避難シミュレーションへの応用	内種 岳詞 宮崎 崇文 今和泉 拓	—
経営学科	25	ASR劣化コンクリート構造物の 新たな補修剤の開発	山本 義幸	—	※ブース番号に「P」の表記があるものはポスター展示のみとなります。				
	P36	大規模言語モデルを利用したブロック積層壁の 打音検査評価支援システム	山本 貴正	—					
	26	都市型災害抑制POCの新規補強方法と 品質安定性向上	薄井 智貴	○					
	P37	新たな商標管理・活用戦略に関する研究 —オープンブランド戦略とクローズドブランド戦略—	後藤 時政	—					
	P38	特許情報を起点とした マーケティング・ツールの開発	羽田 裕	○					
	P39	現場改善会計（GKC：Gemba Kaizen Costing） —東海理化学×ものづくり会計研究室 THINK SCRAP 製品企画&販売促進	終 紫乃	—					
情報科学科	27	製造業の管理監督者を支援する 生産性の可視化に関する研究	安田 正義	○					
	28	マトリクスモデルによる改善活動の診断 大規模言語モデルAIを用いた類似特許探索	福澤 和久	○					
	29	経営データ解析	澤野 弘明	○					
	P40	非専門家向け画像処理ソフト 運転状況を考慮した車内での 雑談対話システム	徳久 良子	—					
		画像センシング・認識処理技術の 産業界課題への適用	塚田 敏彦	—					
		ゼロトラストを実現する端末間接続技術	内藤 彩乃	—					



テクノフェアご来場の方には、
愛知工業大学技術シーズ集2026を
無料で進呈します。

<https://www.ait.ac.jp/cooperation/tie-ups/-seed-ideas/>

愛知工業大学独自の
マッチングファンド「プロジェクト共同研究」による
本学教員との共同研究も可能です！！

プロジェクト共同研究（A）

プロジェクト共同研究（A）では、企業等から提供された
研究経費（直接経費）と原則同額を担当教員に支給します。
通常の共同研究や受託研究などに発展し、産学連携が強化
されることを期待しています。

プロジェクト共同研究（B）

プロジェクト共同研究（B）では、企業等提供の研究経費
の有無にかかわらず、研究経費を担当教員に支給します。
プロジェクト共同研究（A）や通常の共同研究の準備研究
と位置づけています。



<https://www.ait.ac.jp/cooperation/tie-ups/jr-projects/>